



「障がい」を見つめ、人間についてほんやりじっくへり考えよう

障がいのある人の生活・思い・願いを演劇台本に

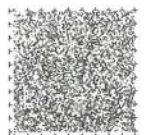
みんなが書く 戯曲のコンテスト

作品集

応募規定

どなたでも応募できます。作品は以下の ①または ②のいずれかである必要があります。

- ① 障害者手帳(身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳)の交付を受けている方が書いたもの
※選考が進んだ段階で、障害者手帳による確認をさせていただきます
- ② 物語に障がい者が登場するもの



文化庁委託事業「令和5年度障害者等による文化芸術活動推進事業」

主催：文化庁 鳥の劇場

制作：鳥の劇場

(音声コード Uni-Voice)

入選作は2024年春にアメリカ・クイーンズシアター、秋に鳥取・鳥の演劇祭でリーディング上演!

私たちは、一人ひとりそれぞれに日々外部の世界と関わり、見、聞き、かぎ、ふれ、味わいながら生きています。「外部」をみなが同じように感じ、とらえていると、つい思ってしまいます。けれど、私たちは他人の目で見、他人の耳で聞き、他人の鼻でかぎ、他人の手でふれ、他人の足で歩き、他人の舌で味わい、他人の脳で思考することはできません。

この事業は、障がいのある人によってとらえられた世界の現実を、そして障がいのない人から見た障がいのある人との現実を、戯曲(芝居の台本)を通じて多くの人が分かち合うことを目指すものです。

短い戯曲ですから、生活のちょっとした場面のスケッチのようなものでも大丈夫です。登場人物と場面を設定し、人物にしゃべらせてください。芝居の台本など書いたことがないほとんどすべての方のために、書き方ビデオも用意します。みなさんそれぞれの生活や思い、願いをお寄せいただければと思います。

多くの人が生きづらさを感じているこの社会で、「障がい」を見つめることを通じて、この時代や社会そして人間を見つめる作品が集まることを期待しています。

応募規定

- ・ 上演時間5分～10分程度の短編戯曲を募集します。上演時間は、応募前に音読してご確認ください。
- ・ どなたでも応募できます。作品は以下の ①または ②のいずれかである必要があります。
 - ① 障害者手帳(身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳)の交付を受けている方が書いたもの
※選考が進んだ段階で、障害者手帳による確認をさせていただきます
 - ② 物語に障がい者が登場するもの
- ・ オリジナル、未発表、未上演の日本語による作品に限ります
- ・ 他の戯曲・小説・映画などから引用した場合は、その作品名と引用箇所を明記してください
- ・ 入選作品には原稿料をお支払いします。また、事業の記録集に掲載いたします。

ホームページでは、新着情報のほか、戯曲制作のためのチュートリアル動画を公開しています))

<https://www.birdtheatre.org/gikyoku-disability/>



選考委員 (五十音順)



大澤真幸
(社会学者)



中島諒人
(演出家・鳥の劇場芸術監督)



永山智行
(演出家・劇作家・劇団こぶく劇場代表)



播磨靖夫
(一般財団法人たんぼぼの家理事長・アマチュア思想家)



森田かずよ
(義足の女優・ダンサー)



ロブ・ウルビナーティ
(劇作家・クイーンズシアター[アメリカ・NY])

作品受付期間

2023年9月1日(金)～11月30日(木)

※作品応募には11月23日(木)までの事前エントリーが必要です。

スケジュール

7月中旬…ホームページ・チュートリアル動画公開

9月1日～11月30日…作品受付期間

12月～2024年1月…選考、入選作品決定

2024年2月…授賞式および記者発表(鳥取県・鳥の劇場にて)

参加方法

作品は、受付期間中にメール・郵送・持ち込みのいずれかで受け付けます。

応募のための詳細をお送りしますので、まずはお気軽に専用フォームから事前にエントリー、またはFAXで事務局までご連絡ください。

<https://bit.ly/gikyoku>



本事業についてのお問い合わせ先

「戯曲コンテスト」事務局 〒680-0031 鳥取市本町1丁目201 ミュトスビル2階

Instagram @gikyoku.disability

Twitter @gikyoku_d

TEL・FAX: 0857-30-0676 E-mail: gikyoku.disability@gmail.com

Facebook @gikyoku.disability